

大正大學研究紀要

第一〇七輯

目次

真言宗僧凝然(二)……………	苦米地 誠一 (1)
—— 諸宗兼学と真言宗 ——	
図識と北魏の廃仏について……………	春本 秀雄 (23)
—— 李弘と劉潔・蓋呉の図識禍 ——	
大正大学付属図書館所蔵『いそざき(磯崎)』をめぐる一考察……………	渡辺 麻里子 (45)
再生可能エネルギーの社会的受容性……………	田島 恵美 (82)
—— 地域的受容性の再検討 ——	
対馬におけるツシマヤマネコの保全と交通事故……………	本田 裕子 (102)
—— 観光利用の視点から考える ——	
新書本の主題範囲(三)……………	今村 成夫 (118)
—— 年間の傾向について ——	

認知的共感性が対人場面における表情模倣に及ぼす効果

谷田林士 (138)

石井麻莉

内藤千明

遠藤忠

コロナ禍における面会交流の実態

青木聡 (156)

——緊急事態宣言(第1回目)が面会交流に及ぼした影響——

野口康彦

オンライン短期海外留学プログラムの効果的な在り方に関する一考察

天木勇樹 (188)

イザベラ・バードの京都滞在

大野純子 (208)

——「新島襄邸」訪問を中心に——

歴史の臨在性について

山田潤治 (232)

——岸田吟香「臺灣信報」を読む——

大学院における共通教育

高野篤子 (246)

——国立大学法人に着目して——

費用削減産業に対する国家介入のあり方……………仲北浦 淳基 (268)

——ロバートソンのピグー批判における独占理論の萌芽——

多様な生き方を嘉する世界……………春日 美穂 (286)

——ドラマ『30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい』が導くもの——

【研究資料】『體源鈔』書名索引……………由井 恭子 (302)

北林 茉莉代
平間 尚子
上條 駿
大駒 晴江